

産業労働常任委員会資料

令和7年12月16日

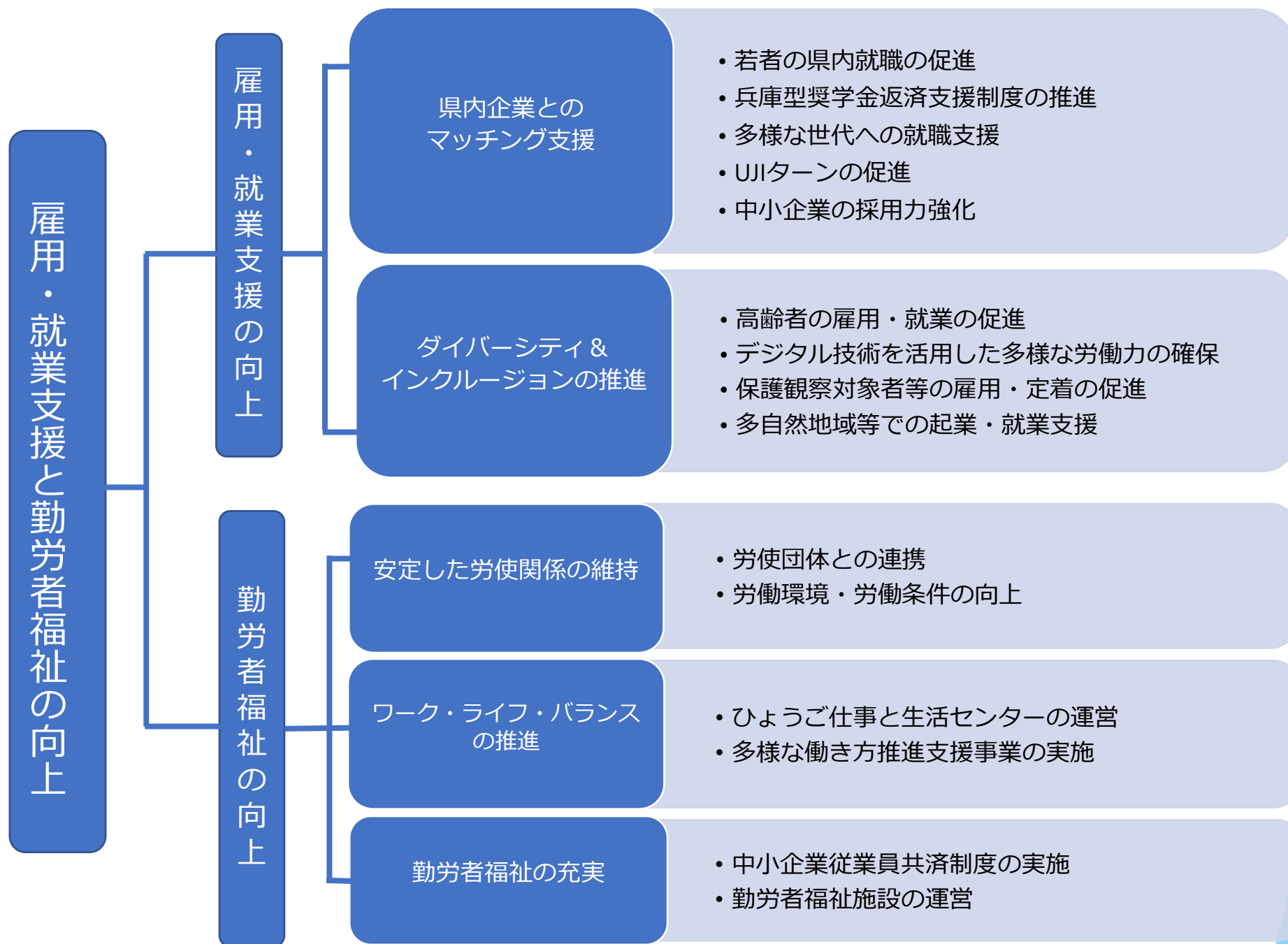
雇用・就業支援と勤労者福祉の向上について

産業労働部
労政福祉課

目次

I 令和7年度 労政福祉課 施策体系表	3
II 雇用を巡る現状	4
III 雇用・就業支援の向上	8
1 県内企業とのマッチング支援	9
2 ダイバーシティ&インクルージョンの推進	21
IV 勤労者福祉の向上	26
1 安定した労使関係の維持	27
2 ワーク・ライフ・バランスの推進	31
3 勤労者福祉の充実	35

I 令和7年度 労政福祉課 施策体系表



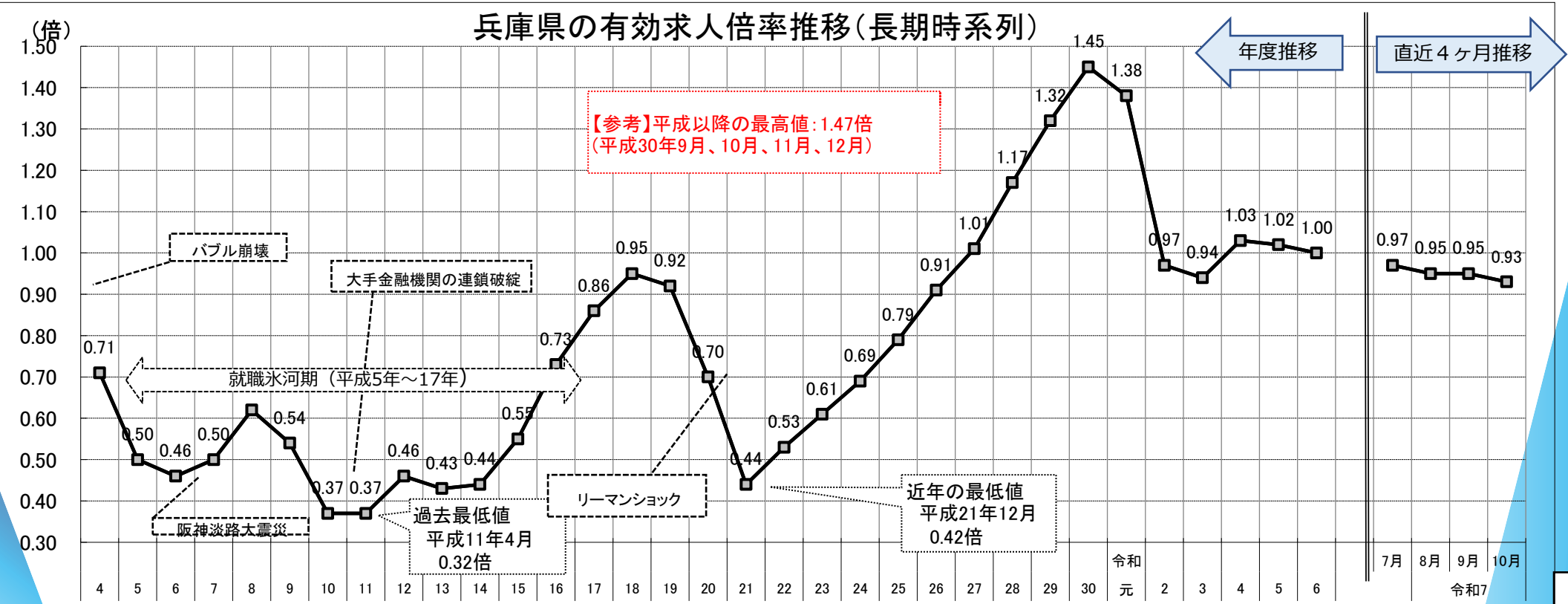
Ⅱ 雇用を巡る現状

1 本県の雇用情勢

有効求人倍率は令和4年以降、1倍を超えて推移し、雇用情勢は回復傾向にあったが、令和6年以降、足踏みが続く。物価高などが雇用に与える影響に引き続き注意する必要がある。

【有効求人倍率等の推移】

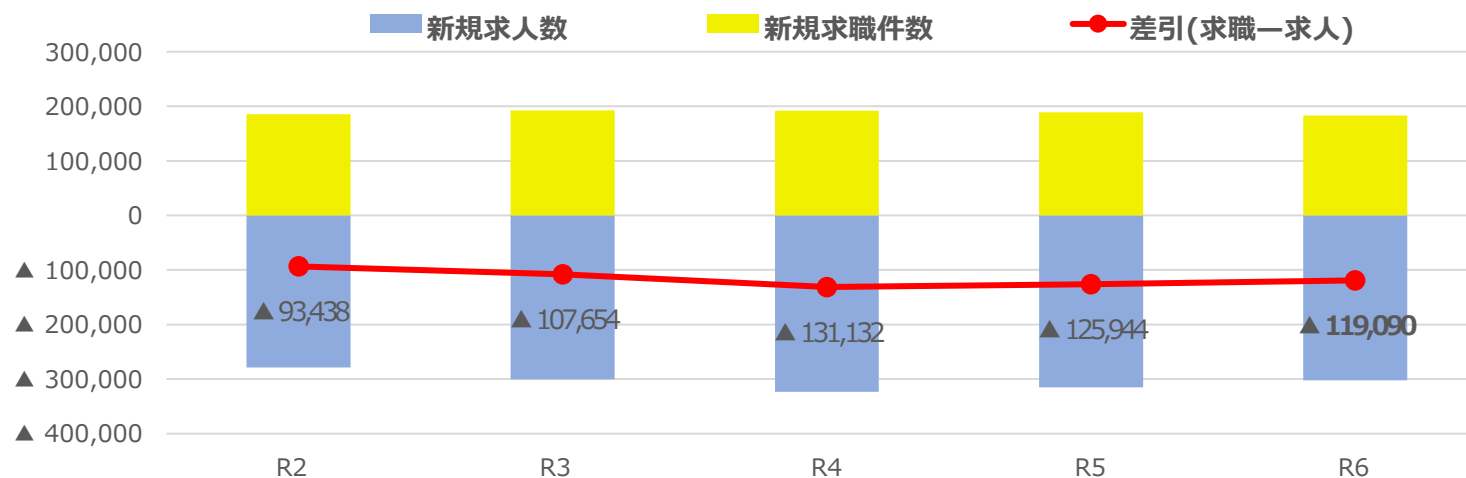
区分	年度平均						直近4ヶ月			
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	7月	8月	9月	10月
有効求人倍率	1.38	0.97	0.94	1.03	1.02	1.00	0.97	0.95	0.95	0.93



2 本県の人手不足の状況

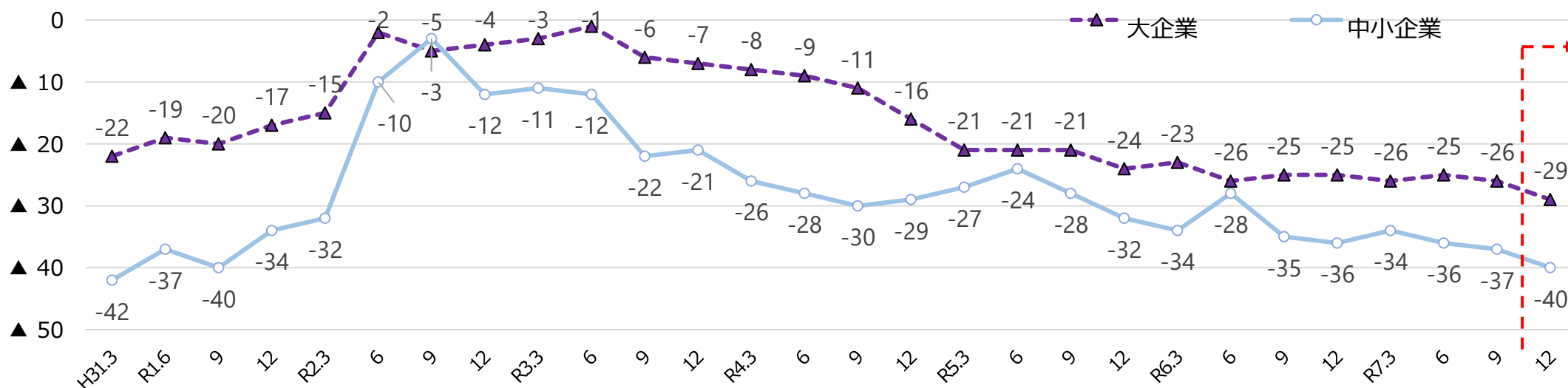
新規求人数・新規求職者数は微減。中小企業では人手不足感が強い。

【新規求人数、新規求職者数（兵庫県、R6年度）】



資料：厚生労働省「一般職業紹介状況（職業安定業務統計）」

【全産業雇用人員判断DI（過剰-不足の推移）】



資料：日本銀行神戸支店「県内企業短期経済観測調査」
（県内大企業69社、中小企業169社）

3 本県の人口流出の状況

近年、6,000～7,000人程度の転出超過が続いており、特に20歳代が多く転出している。

【本県の人口転出入数の推移（外国人含む、国内移動）】

区分	R2	R3	R4	R5	R6
転入	83,526人	83,089人	84,235人	82,910人	81,574人
転出	91,049人	89,309人	90,225人	89,914人	88,898人
転入超過	▲7,523人	▲6,220人	▲5,990人	▲7,004人	▲7,324人
うち20～29歳	▲8,832人	▲7,962人	▲8,327人	▲8,578人	▲8,017人

資料：住民基本台帳人口移動報告

4 県内大学卒業者の就職状況

県内大学卒業者の約7割が県外企業へ就職する状況が続いている。

【県内大学卒業者の就職先】

区分	R1 (R2.3卒)	R2 (R3.3卒)	R3 (R4.3卒)	R4 (R5.3卒)	R5 (R6.3卒)	R6 (R7.3卒)
県内	28.2%	29.8%	29.4%	28.8%	28.2%	27.9%
県外	71.8%	70.2%	70.6%	71.2%	71.8%	72.1%

資料：兵庫県総務部教育課調べ

5 県内企業の新卒採用充足状況

県内企業は、約3万人の新卒採用を計画。一方、中小企業で約1.2万人が未充足。

【従業員規模別の新卒採用に対する充足状況（2026卒調べをもとに試算）】

	従業員規模	県内企業数(社) [※1]	新卒採用計画数 ① (人/年) [※2]	就職希望者数 ② (人/年) [※3]	充足状況 ③ (②－①)
小規模・ 中小	0～4人	101,848	0	1,811	▲14,593人 (8.98倍)
	5～9人	14,982			
	10～19人	8,625	4,312		
	20～29人	3,101	1,550		
	30～49人	2,342	2,342		
	50～99人	1,778	2,667		
	100～299人	1,200	5,400		
	小計	133,876	16,271	—	—
中堅・ 大企業	300～999人	338	6,116	4,280	▲1,836人 (1.43倍)
	1000～4999人	82	6,424	6,096	+328人 (1.05倍)
	5000人以上	6	2,104	6,280	+4,176人 (0.34倍)
	小計	426	14,644	16,656	—
計		134,302	30,915	18,467	—

余剰分採用により

約▲12,000人

余剰分採用
約4,000人

※1 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス活動調査」

※2、3 リクルートワークス研究所「ワークス大卒求人倍率調査（2026卒）」から試算

・300人以上：全国の調査結果に兵庫県の人口割合4%をかけたもの

・300人未満：下記の考え方に基づき積算

従業員規模	採用見込
0～4、5～9人	— 0人
10～19、20～29人	— 0.5人
30～49人	— 1.0人（毎年1人）
50～99人	— 1.5人
100～299人	— 4.5人

就職から退職まで1つのサイクル（約40年）でみた場合、
県内企業は約3万人／年の雇用確保が必要。一方で、新卒採用で1.2万人不足しており、
これらを県内企業は、中途採用・外国人などで確保している。

Ⅲ 雇用・就業支援の向上

1 県内企業とのマッチング支援

(1) 若者の県内就職の促進

ア 大学生等インターンシップ推進事業 【令和7年度予算 39,220千円】

県内企業の魅力を知るきっかけとして、大学生等を対象にインターンシップを推進

(ア) インターンシップの推進

- a 県・商工会議所・経営者協会等による連絡協議会の設置
- b 「兵庫県インターンシップ&キャリアシステム」の開設（通年サイト）
- c インターンシッププログラムの作成支援

＜実施主体＞ 兵庫県経営者協会

【実績】

（令和7年10月末時点）

年度	大学数	参加者数	受入企業数
R6	88校	329人	47社
R7	82校	326人	33社

【企業の声】

- ・学生と接点ができ、採用活動の対象となる母集団形成に繋がっている。
- ・インターンシップの必要性が理解できた。

【学生の声】

- ・企業や業界の理解が深まった。
- ・社員の働き方を見て、就職後の自分の姿が具体的に想像できた。

(イ) インターンシップ受入企業とのマッチング会

受入企業と学生のマッチング会を開催し、インターンシップへの参加を促進

【実績】

（令和7年10月末時点）

年度	開催日	参加者数	受入企業数
R6	6月1日	34人	20社
R7	5月25日	39人	20社



[マッチング会の様子]

(ウ) 企業見聞録事業

大学の授業と連携して、低学年（１、２年生）向けに企業見学会を実施

【実績】

（令和７年10月末時点）

年度	実施大学	参加者数	受入企業数
R6	甲南大学、兵庫県立大学	66人	24社
R7	園田学園大学	14人	5社

(エ) テーマ型インターンシップ【新】

地場産業などテーマごとに複数の企業を２～５日程度で訪問し、短期間で多くの企業を知ることができるプログラムを提供

【実績】

（令和７年10月末時点）

年度	実施テーマ	参加者数	受入企業数
R7	地場産業、業界型（製造業・食品関連・情報産業）	54人	19社



[テーマ型インターンシップ
企業訪問の様子]

(オ) 探求型プレインターンシップ【新】

就職活動前の学生を対象に、企業が提示する課題にグループで探究活動に取り組むプログラムを提供

- ・企業・業界研究型：企業・業界に関する視野を広げ、理解の促進を図る（５日間）
- ・キャリア形成型：企業・業界への理解促進と自身の将来像を明確化する（６ヶ月間）

【実績】

（令和７年10月末時点）

年度	実施内容	参加者数	受入企業数
R7	企業・業界研究型	30人	10社
	キャリア形成型	78人	15社

イ 理工系人材の獲得促進事業 【令和7年度予算 7,957千円】

(ア) 企業と理工系大学との就職情報交換会

県内の製造業と県内外の理工系大学との連携を深めるため、企業とキャリアセンターとの就職情報交換会を開催

【実績】

(令和7年10月末時点)

年度	開催日	参加大学数	参加企業数
R6	7月26日	12校	15社
R7	8月1日	10校	15社

【企業の声】

- ・これまでに接点がない大学との関わりをもつことができた。
- ・最新の学生動向を知ることができた。

(イ) 学生との合同交流会

理工系学生に製造業を営む中小企業の魅力を知ってもらう合同交流会を開催

【実績】

(令和7年10月末時点)

年度	開催日	開催地	参加企業数	参加者数
R6	11月15日	姫路	10社	104人
	2月3日	神戸	15社	15人
R7	11月14日	姫路	10社	156人
	2月実施予定	尼崎	10社（予定）	－人

【学生の声】

- ・今まで知らなかった企業の説明を聞き、理解が深まった。
- ・一度に様々な分野・企業の情報を得られた。

(ウ) 製造・研究現場見学会

企業の製造・研究・開発現場の見学や、産業見本市での会社説明を通じて、理工系専門分野を深掘りする機会を提供

【実績】

(令和7年10月末時点)

年度	実施内容	開催日	開催地	参加企業数	参加者数
R7	産業見本市	9月4～5日	神戸	5社	195人
	企業見学	9月10日	姫路ほか	3社	8人



[産業見本市での様子]

ウ ひょうご科学塾 【令和7年度予算 3,741千円】 【新】

理工系人材の県内就職に向けた早期アプローチとして、高校進学・文理選択の前の小中学生や保護者に向けて、県内大学と県内企業が共同で出前授業を実施

【実績】

(令和7年10月末時点)

年度	開催日	開催地	出展者	参加者数 (保護者含む)
R7	4月13日	姫路	企業5ブース、 学校4ブース 等	713人
	9月23日	加古川	企業2ブース、 学校2ブース 等	388人
	3月20日	神戸	—	—



[第1回ひょうご科学塾]

エ 大学との就職支援協定の締結

大学生の県内就職及びUターン就職を促進するため、県内全ての大学と県出身者の多い首都圏等の大学と協定を締結し、学生の県内就職を促進

＜締結大学＞

区分	大学数	締結大学
県内	36校	県内全大学
県外	首都圏	9校 東洋大学、中央大学、東京農業大学、日本大学、東海大学、国土舘大学、創価大学、専修大学、神奈川大学
	その他	8校 近畿大学、京都女子大学、大谷大学、岡山理科大学、広島工業大学、京都産業大学、京都橘大学、同志社大学

＜協定の内容＞

連携・協力して取り組む事項

- ア 学生、保護者等に対する県内の企業情報、各種イベント等の周知
- イ 大学内で行う合同企業説明会等の開催
- ウ 学生及び卒業生の就職に係る情報把握
- エ 県内の企業等におけるインターンシップ実施への支援
- オ Uターン就職支援（県外大学）

[R6合同企業説明会等の開催回数]

県内：1回、県外：18回

オ 高校生の県内就職促進事業 【令和7年度予算 8,543千円】

高校生のキャリア形成支援と若手人材の確保・定着を推進するため、就職を希望する生徒に加え、進路指導担当教員向けにセミナー等を開催

(ア) 高校生向けキャリア支援セミナー

- a 専門家による社会人マナー講座
- b 新規高卒者の採用を検討している地元企業との交流会
- c 県の施策、大学生の就活事情などを伝える進学希望者向けセミナー

【実績】

(令和7年10月末時点)

年度	実施回数	参加者数
R6	15校 21回	1,103人
R7	10校 18回	898人



[キャリア支援セミナー]

(イ) 高校進路指導担当教員向けセミナー

- a 兵庫県の施策（認証制度）、就活事情などを伝えるセミナー
- b 地域の優良企業など会社情報の説明

【実績】

(令和7年10月末時点)

年度	実施回数	参加者数
R6	7回	172人
R7	6回	110人



[教員向けセミナー]

(2) 兵庫型奨学金返済支援制度の推進

【令和7年度予算 166,978千円】

県内中小企業の人材確保、若者の県内定着を促進するため、中小企業と連携した奨学金返済支援制度により、若者の奨学金返済を支援

令和6年度から、対象年齢の上限を30歳未満から40歳未満に緩和し、補助期間を従来の5年から最大17年に延長



＜補助対象＞

(企業) 県内に本社がある中小企業等

(従業員) 対象企業に勤務し次の全てを満たす者

- ① 日本学生支援機構の奨学金を受給し返済義務がある
- ② 正社員で40歳未満
- ③ 県内事業所に勤務

＜補助期間＞ 対象者1人につき最大17年間

＜補助額＞ 年間返済額の2/3（上限12万円）

【実績】 (令和7年10月末時点)

年度	制度導入企業数	利用企業数	利用者数
R6	363社	272社	1,255人
R7	414社	221社	938人

【R6アンケート】

企業・・・人材確保・定着に効果があった 約6割
従業員・・・生活の負担感が軽減された 約9割

【補助期間のイメージ】

最大補助期間	対象企業
5年	県内に本社がある中小企業
10年	SDGs宣言企業 (いずれか2つが該当) フレッシュミモザ企業 ワーク・ライフ・バランス宣言企業
17年	SDGs認証企業 (いずれか2つが該当) ミモザ企業 ワーク・ライフ・バランス認定企業 ワーク・ライフ・バランス表彰企業

【補助額のイメージ】



(3) 多様な世代への就職支援

ア ひょうご・しごと情報広場における就職支援の実施 【令和7年度予算 66,868千円】

就職を希望する者に対し、世代に応じた就職相談を実施するとともに、就活トレーニングや各種セミナー、就業マッチングを通じて、就職までの一貫したワンストップサービスを提供

＜開設場所＞ 神戸クリスタルタワー12階

＜開設時間＞ 10:00～18:00（土日祝日は除く）

＜実施方法＞ （一財）兵庫県雇用開発協会に委託

※神戸ハローワーク若者職業相談窓口と新卒応援ハローワーク（兵庫労働局）を併設し、一体的に運営

（ア） 若者しごと倶楽部の運営

学生やフリーターなど概ね39歳までの若年者を対象とした就職活動支援を実施

- a キャリアカウンセリング
- b 就活トレーニングや面接練習講座等、各種セミナー
- c ハローワークの求人情報検索端末機による職業紹介
- d 企業担当者向け訪問セミナー



[就活トレーニングの様子]

(イ) ミドル世代の就労相談窓口の設置

専門的な相談を受ける就労相談窓口を設置し、就職氷河期世代を含む年齢層であるミドル世代（40～64歳）を対象とした正規雇用化を促進

(ウ) シニア世代就労支援窓口の運営

就労意欲のあるシニア世代（65歳以上）がライフスタイルや能力に合わせて活躍できるよう、就労希望者のマッチングを支援

【実績】

(令和7年10月末時点)

年度	相談件数（件）				就職内定者数（人）			
	若者	ミドル	シニア	計	若者	ミドル	シニア	計
R6	12,376	1,353	99	13,828	1,666 [1,626]	64 [39]	33 [0]	1,763 [1,665]
R7	7,742	847	74	8,663	1,011 [967]	54 [30]	12 [0]	1,077 [997]

※ [] 内に正規雇用者数を記載

(4) UJIターンの促進

ア「ひょうご移住・しごとプラザ」の運営 【令和7年度予算 20,553千円】

首都圏からの移住とUJI就職の促進拠点である「ひょうご移住・しごとプラザ」を東京（ふるさと回帰支援センター内）に開設し、就職支援を実施

＜設置場所＞ 東京交通会館（ふるさと回帰支援センター内）

＜開所日＞ 週6日（火～日）（月・祝は定休）

- （ア）兵庫県への就職希望者に求人情報等を提供
- （イ）移住希望者向けミニセミナー、県内企業等との交流会の実施
- （ウ）首都圏大学への就職支援情報の提供 等

【実績】

（令和7年10月末時点）

年度	就職相談件数	就職内定者数	イベント申込件数
R6	295件	22人	276件
R7	250件	7人	51件



[相談の様子]

イ 移住支援金の支給

就業・起業による移住や中小企業の人材確保を促進するため、国交付金を活用して東京23区から移住した者等に移住支援金を支給

項目	内容
支給要件	以下の要件を全て満たす者 （ア）直近10年間のうち、通算5年以上東京23区に在住又は通勤していた者 （イ）移住先の市町に、5年以上継続して居住する意思のある者 （ウ）県が対象と認めた企業に就職した者又は社会的分野の起業をした者等 （専門人材、テレワーカー、関係人口を含む）
補助単価	1,000千円/世帯 600千円/単身
実績	令和6年度：51件 令和7年度：22件（令和7年10月末時点）

ウ おためし企業体験 in HYOGO（社会人インターンシップ） 【令和7年度予算 21,080千円】

首都圏在住求職者や不安定就労者等に対し、長・短期の企業体験を通じ、適性にあった企業への就職を支援

（ア） 企業体験

項目	実施概要
a ミニ体験コース	数時間～1日程度の職場見学、企業説明、社員との交流会、就職支援セミナー等
b 職場体験コース	数日間の職場体験（職場体験、業務実習等）
c おためし入社コース	1週間～1か月程度の就業体験 体験後、企業と体験者双方の合意があれば本採用
d オンライン体験コース	オンラインでの企業説明、社員との交流会や職場体験
e 首都圏参加者向け支援	首都圏向け広報、セミナー開催を通じた転職希望者の掘り起こしや、ニーズに合わせた個別調整、来県時のフォローアップ等

（イ） 滞在支援オプション

首都圏からの参加者に対し、体験中の短期滞在費及び来県旅費を助成

＜補助率＞ 1/2

＜補助金額＞ 短期滞在費:上限12万円/回（4千円/泊）、来県旅費:上限2万円/回

（ウ） 企業インセンティブ

職場体験等の受入企業に謝金を支給するとともに、就職氷河期世代の参加者を正規雇用として採用した企業に対し支援金を支給

＜支給金額＞ ・受入企業謝金 : 2万円/回
・採用時の支援金 : 10万円/人

【実績】

（令和7年10月末時点）

	登録企業数	体験者数	就職者数
			（うち、登録企業就職者数）
R6	392社	497人	45人 (2人)
R7	448社	196人	— —

エ 合同企業説明会等によるUターン就職の促進 【令和7年度予算 8,752千円】

(ア) 県内出身者のUターン就職のための企業魅力発信フェア

就職活動が本格化する前の大学3年生を主な対象とし、本県出身者が県内企業の魅力を知る場を提供

【実績】

(令和7年10月末時点)

年度	開催地	開催日	参加企業数	参加者数
R6	神戸	7月6日	30社	102人
	WEB	2月20日	※ 47社	128人
R7	神戸	8月20日	30社	46人
	WEB	1月開催予定	※ ー	ー

※ワーク・ライフ・バランス表彰企業を対象

(イ) 県内での合同企業面接会

県内中小企業等の人材確保に向け、大学生を対象とした全県版就職面接会を開催

【実績】

(令和7年10月末時点)

年度	開催地	開催日	参加企業数	参加者数	就職者数
R6	神戸	6月25日・26日	40社	81人	11人
R7	神戸	7月3日・4日	40社	76人	ー



[企業魅力発信フェア（WEB）の様子]



[合同企業説明会の様子]

(5) 中小企業の採用力強化

ア 「ひょうご応援企業」大卒採用支援事業 【令和7年度予算 6,126千円】

兵庫県内で就職を希望する若者を積極的に採用する企業を「ひょうご応援企業」として登録し、企業情報の発信をすることで、地元企業への就職を促進

(ア) 「ひょうご応援企業」の登録・情報発信

a ホームページでの企業情報発信

b LINE公式アカウントでの就活関連イベント等の情報発信

【実績】 (令和7年10月末時点)

年度	「ひょうご応援企業」登録数（累計）	
	（うち、県認証制度取得企業数）	
R6	737社	(463社)
R7	766社	(500社)



[就職面接会の様子]

イ 中小企業採用力強化支援事業 【令和7年度予算 3,702千円】

就職市場における売り手優位が続く中、中小企業の採用力を強化し、県内企業への就職を促進
<実施内容>

(ア) 採用力強化支援セミナー（3回）

(イ) 個別相談（15社程度）

(ウ) モデル企業の創出・成功事例の展開（次期セミナーでの取組紹介等）

【実績】 (令和7年10月末時点)

年度	開催日時	テーマ	参加企業数
R7	6月27日	実際の成功事例から学ぶ採用できる会社とできない会社の違い -採用の仕掛け方-	32社
	8月27日	母集団形成と企業ブランディング-若手人材に "選ばれる企業"になるための採用広報戦略-	29社
	10月27日	選考・面接の質を高める方法「応募者の本音を引き出し、 採用につなげる選考術」	26社

2 ダイバーシティ&インクルージョンの推進

(1) 高齢者の雇用・就業の促進

ア 高齢者の就労支援

(ア) シルバー人材センターの事業推進 【令和7年度予算 9,265千円】

定年退職後等の高齢者の多様な就業機会を確保するため、県内34のシルバー人材センターを指導・育成する(公社)兵庫県シルバー人材センター協会の運営を支援

【実績】

(令和7年9月末時点)

年度	会員数 ①	就業延人員 ②	一人あたり就業日数 ②／①
R6	34,915人	3,296,062人	94.4日
R7	35,061人	1,639,278人	46.8日

イ シニア世代就労支援窓口の運営 【令和7年度予算 6,616千円】

「ひょうご・しごと情報広場」において、就労意欲のあるシニア世代（65歳以上）がライフスタイルや能力に合わせて活躍できるよう、就労希望者のマッチングを支援

<事業内容>

(ア) キャリアカウンセリング

(イ) 短時間勤務の職業紹介

(ウ) 短時間勤務のしごと切出し支援

【実績】 (令和7年10月末時点)

年度	しごと切出し件数
R6	37件、87人分
R7	44件、203人分



[シニア世代就労支援の様子]

(2) デジタル技術を活用した多様な労働力の確保

ア 淡路島でのデジタルマッチングシステムの展開 【令和7年度予算 6,140千円】

デジタル技術を活用して、家庭の事情等による短時間勤務を求める女性や退職後の高齢者など、多様な労働力を発掘から就職へとつなぐマッチングシステムを展開

(ア) マッチングシステムの構築（淡路地域でのモデル実施）

【実績】

（令和7年10月末時点）

現在登録 事業所数	現在登録 求職者数	掲載求人件数（累計）	採用件数（累計）
		（うち10月単月）	（うち10月単月）
203事業所	1,829人	4,342件 (820件)	2,505件 (366件)

(イ) 兼業・副業・ギグワーク人材活用セミナーの開催

【実績】

（令和7年10月末時点）

年度	開催地（開催日）	参加企業数
R7	淡路（5月12～14日）	29社
	淡路（11月13～14日）	—
	オンライン（1月14日予定）	—



<実施手法>

淡路県民局にて実施（民間企業に委託）

(3) 保護観察対象者等の雇用・定着の促進

保護観察対象者等の社会的自立には就労が重要であることから、円滑な就労に向けた支援を実施するとともに、雇用基盤整備を促進

ア 刑務所出所者等雇用導入促進事業 【令和7年度予算 5,120千円】

刑務所出所者等の社会復帰を促進するため、刑務所出所者等を新たに雇用する民間事業者に対し、人件費等の一部を補助。

＜対象経費＞ 雇用開始後最大4ヶ月分の給与、研修費

＜補助額＞ 8万円/月×4ヶ月＝32万円

【実績】

(令和7年10月末時点)

年度	補助事業所数	雇用人数（うち継続雇用者）
R6	8事業者	8人（8人）
R7	11事業者	11人（11人）

イ 保護観察対象者等就労支援プログラム事業 【令和7年度予算 7,054千円】

保護観察対象者等の就労を促すため、民間人材教育会社で研修や就労体験を実施

＜事業内容＞

研修（1ヶ月 賃金15万円支給）＋就職支援（最長3ヶ月）

※研修 1週目：ビジネス基礎研修（座学）、2週目～1ヶ月：職場体験

＜実施方法＞

民間人材教育会社に委託

【実績】

(令和7年10月末時点)

年度	参加者数	就職者数（うち正規雇用）
R6	11人	7人（4人）
R7	7人	2人（1人）

ウ 保護観察対象者等雇用拡大促進事業 【令和7年度予算 6,816千円】

保護観察対象者等の雇用基盤整備を行っているNPO法人に就労支援員を配置し、協力雇用主の拡大や事業主支援のほか、啓発のためのシンポジウムを開催

- (ア) 協力雇用主に対する受入れ拡大、新規企業開拓
- (イ) 事業主向けセミナーや施設見学会の実施
- (ウ) 社会の意識啓発に向けたシンポジウムの開催

＜実施方法＞

NPO法人兵庫県就労支援事業者機構に委託

【実績】

年度	開催日	テーマ	参加者数
R6	11月5日	寄り添い、支え、見守る ～誰もが再出発できる社会へ～	149人
R7	11月6日	再び社会の一員へ ～地域社会で孤立させない～	138人



[更生保護就労支援シンポジウム]

(4) 多自然地域等での起業・就業支援

ア 地域しごとサポートセンター事業 【令和7年度予算 34,731千円】

地域住民や地域団体等がビジネス的手法により地域課題解決を図る取組を支援する拠点として「地域しごとサポートセンター」を設置

所管地域	実施団体
神戸	(特非) コミュニティ・サポートセンター神戸
阪神	(特非) コミュニティ事業支援ネット
播磨	コバコ(株)
但馬	労働者協同組合はんしんワーカーズコープ
丹波	(一社) 丹波篠山キャピタル
淡路	(株) シマトワークス



[セミナーの様子]

＜補助率＞ 10/10以内

- (ア) 地域課題の発掘・解決支援（起業支援、普及・実践セミナーの開催等）
- (イ) 地域しごとへの就業支援（相談、職業紹介等）
- (ウ) 拠点ネットワーク化

【実績】

（令和7年10月末時点）

年度	相談件数	起業団体数	従事者数
R6	3,164件	56団体	102人
R7	1,860件	37団体	54人

IV 勤労者福祉の向上

1 安定した労使関係の維持

(1) 労使団体との連携

ア 雇用対策会議（政労使会議）

(ア) 会議概要

労使団体及び労働関係行政機関と緊密な連携を図り、労働行政を円滑かつ効果的に推進するため、経済雇用情勢・課題に応じて、政労使による会議を開催（平成11年から行政：知事・兵庫労働局長、労働者団体：連合兵庫会長、使用者団体：兵庫県経営者協会会長を構成員として随時）

【兵庫県政労使会議】

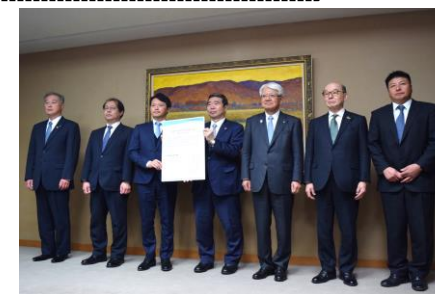
令和5年度から、県内経済団体にも構成員を拡大して開催。賃金と物価の好循環の流れを、中小企業の成長と持続的発展につなげていくための「オール兵庫」での取組について意見交換を実施

(R7.2.5共同メッセージ)

私たちは、成長型経済の実現に向けて兵庫経済の好循環を加速させ、物価上昇を上回る賃上げ、労務費の適切な価格転嫁、生産性の向上、投資の拡大に「オール兵庫」で取り組みます。

兵庫県政労使会議 構成員

行 政	知事、兵庫労働局長
労働者団体	連合兵庫会長
使用者団体 ・経済団体	兵庫県経営者協会会長、兵庫県商工会議所連合会会頭 兵庫県商工会連合会会長、兵庫県中小企業団体中央会会長



【R6年度政労使会議の様子】

【参考】

実 績

H11.6	兵庫型ワークシェアリング合意	H31.3	時間を大切にする県、兵庫県宣言
H13.11	雇用に関する三者合意	R2.6	ポストコロナ社会に向けた四者合意
H18.3	ひょうご子ども未来三者合意	R6.1	兵庫県政労使会議「共同メッセージ」
H20.10	仕事と生活バランスひょうご共同宣言	R7.2	兵庫県政労使会議「共同メッセージ」
H26.1	ひょうご経済・雇用活性化プラン実現に向けた意見交換		

イ 地域別雇用対策会議

地域の雇用対策等についての意見交換や労働関係法令の周知等を実施するため、平成12年から、地域の労使団体及び労働関係行政機関が参加し、県民局・県民センター単位で開催（年2回程度）

ウ 労使関係総合調査

労働組合の実態等を総合的に把握し、労働行政の基礎資料を得ることを目的として、労働組合基礎調査等を実施

【調査結果】

（各年6月末時点）

年度	組合数（組合）	組合員数（人）	推定組織率（％）	
			兵庫県	（参考）全国
R2	1,956（△43）	391,095（+2,203）	20.9（+1.5）	17.1（+0.4）
R3	1,954（△2）	388,940（△2,155）	20.6（△0.3）	16.9（△0.2）
R4	1,876（△78）	353,870（△35,070）	18.5（△2.1）	16.5（△0.4）
R5	1,836（△40）	347,081（△6,789）	18.0（△0.5）	16.3（△0.2）
R6	1,820（△16）	343,325（△3,756）	17.7（△0.3）	16.1（△0.2）

※1 （ ）は対上段年比の増減

組合員数

※2 兵庫県の推定組織率 = $\frac{\text{組合員数}}{(\text{国勢調査の兵庫県雇用者数}) \times (\text{労働力調査の全国雇用者数伸び率})}$

(2) 労働環境・労働条件の向上

ア 労働環境対策事業の実施 【令和7年度予算 75,000千円】

中小企業における人材の確保と職場定着の促進を図るため、18商工会議所、28商工会が行うワーク・ライフ・バランス推進セミナーや労働安全衛生講習会等、勤労者福祉の向上を目指す取組を支援

【実績】（令和7年10月末時点）

年度	実施事業数
R 6	67件
R 7	71件（見込）



[明石商工会議所の様子]



[朝来市商工会の様子]

【令和7年度の主な取組み】

区分	事業名	事業の概要	参加者数
明石 商工会議所	カスタマーハラスメント対策事業実践講座	カスタマーハラスメントの実態とその対策方法を学び知識を深めることによって、従業員の離職を防ぎ、より良い職場環境の実現を目指す。	28名
朝来市 商工会	労働環境整備による職場定着推進支援事業	職場でのコミュニケーション法、働きやすい職場環境づくりについてセミナーを行い、新入・若手の定着率向上を図る。	31名

イ 労働安全衛生教育事業 【令和7年度予算 1,000千円】

労働災害の防止、労働安全衛生意識の高揚等を図るため、職場における労働災害防止やストレスチェック等に関する講習会の開催や周知資料の作成など、勤労者の労働安全衛生水準の向上を目指す取組を実施

【実績】

(令和7年10月末時点)

年度	開催日	参加者数	内容
R6	9月27日	30名（対面のみ）	「労働組合は産業保健にどう取り組むか」等
	12月13日	91名（内36名オンライン）	「兵庫第14次労働災害防止5ヵ年計画における健康確保対策」等
R7	10月23日	30名（対面のみ）	「ストレスチェック制度について」等
	12月8日 （予定）	—	「安全対策、健康確保対策（仮）」等

ウ 中小企業における正社員転換・処遇改善事業 【令和7年度予算 2,492千円】

正社員を希望する非正規雇用労働者の正社員転換など処遇改善を推進するため、企業経営者向けのセミナー兼相談会、企業への個別支援を実施

【実績】

(令和7年10月末時点)

年度	セミナー兼相談会	企業への個別支援数
R6	5回（延べ145名参加）	36社
R7	1回（29名参加）	26社

2 ワーク・ライフ・バランスの推進

(1) ひょうご仕事と生活センターの運営【令和7年度予算 163,629千円】

企業におけるワーク・ライフ・バランス（WLB）の取組を全県的に推進するため、政労使三者合意のもと、平成21年に設立し、多様で柔軟な働き方により働きやすい雇用就業環境を創出

ア WLB推進企業の拡大への取組

WLB推進企業の拡大と取組の高度化を図るため、宣言・認定・表彰制度を活用し、企業の取組を切れ目なく支援

【宣言・認定・表彰実績】 (令和7年10月末時点)

区分	企業数
表彰企業	182社
認定企業	596社
宣言企業	4,153社



【令和7年度表彰企業取組事例】

株式会社山本電機製作所 (製造業・神戸市)

～働きやすさが未来を創る～

<主な取組み>

(1) 2022年10月より産後パパ育休を運用開始

男性社員の育児参加促進を期待し、産後パパ育休を導入。取得率は90%。

(2) 能力開発を促進するためのジョブローテーションを実施

従業員に幅広い業務経験を提供。急な人員不足の際の即時応援が可能に。

(3) 新入社員、若手社員の育成のためのトレーナー制度を導入

話しやすい職場環境を整備。トレーナー自身が指導を通じて成長することも期待。

【産後パパ育休中の社員】



イ 普及啓発・情報発信

11月をWLBキャンペーン月間として、フェスタ、拠点地域（阪神・姫路・神戸）シンポジウム・セミナーを開催し、WLBへの理解と取組を一層促進

（ア） WLBフェスタ

- a 「ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰」
- b 基調講演

【実績】

年度	テーマ	参加者数
R6	「これからの人的資本経営」	175名
R7	「日本企業におけるダイバーシティ推進の現状と課題」	12/1実施



【ワーク・ライフ・バランスフェスタ】

（イ） WLB拠点地域シンポジウム・セミナー

【実績】

年度	地域	テーマ	参加者数
R6	阪神	「多様な人材が活躍する職場・働き方」 ～人材確保・定着に向けてワーク・ライフ・バランスの観点から考える～	125名
	姫路	「地方の中小企業の採用成功法則」	145名
	神戸	「心理的安全性が高く生産的な職場づくり」	155名
R7	阪神	「人材確保と地元企業の戦略的な取組」 ～ワーク・ライフ・バランス宣言・認定・表彰など制度活用のメリット～	97名
	姫路	「多様性推進の現状と自律的キャリア形成」	65名
	神戸	「若手を育て活かす上司力」 ～若手が成長実感できる職場の創り方～	130名



【神戸セミナーの様子】

ウ 企業支援

企業のWLBの取組を支援するため、センター指導員や社労士等の専門家を派遣し、従業員意識調査等により課題抽出、助言等を実施。また、企業等の課題に応じて、従業員向けの研修等を企画・実施

【実績】 (令和7年10月末時点)

年度	専門家派遣	研修
R6	1,985件	218件
R7	1,103件	145件



【専門家による企業相談】

(2) 多様な働き方推進支援事業の実施 【令和7年度予算 150,000千円】

中小企業における女性や高齢者等の職域拡大、育児・介護休業の取得や短時間勤務制度の利用推進を図るため、代替要員の賃金やテレワーク導入等の環境整備費用の一部を助成

【実績】 (令和7年10月末時点)

年度	育児・介護代替要員 確保助成コース		働き方改革 助成コース		計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R6	100	79,129	33	35,985	133	115,114
R7	50	38,094	5	6,119	55	44,213

(3) 不妊治療と仕事の両立支援 【令和7年度予算 4,306千円】

不妊治療と仕事の両立支援の取組を全県的に推進するため、企業への普及啓発、相談支援を実施

ア 県内企業への普及啓発

- (ア) 社内研修への活用を目的とした動画配信、広報媒体等を通して、
管理職・従業員向けに必要な知識を普及啓発
- (イ) セミナーの開催

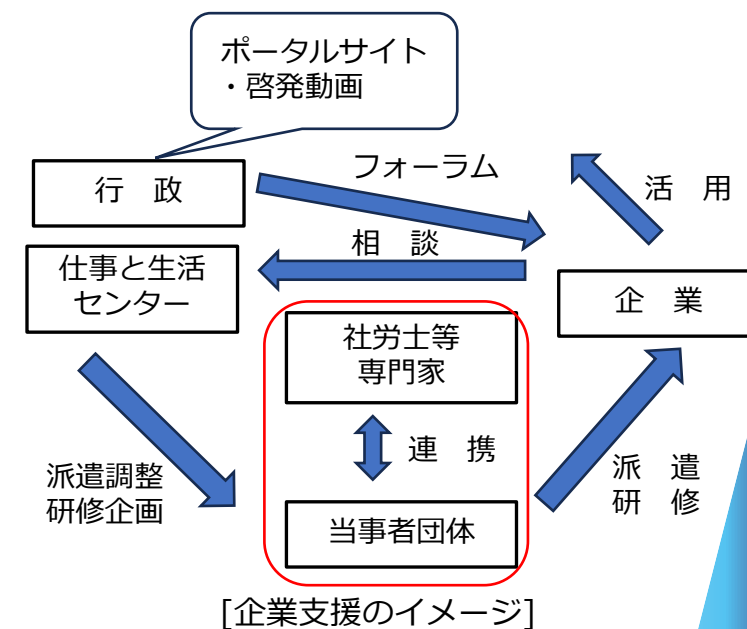
年度	内容	地域
R6	不妊治療と仕事の 両立理解促進セミナー	神戸、阪神、姫路、 国際フォニア産業Mセ
R7	不妊治療と仕事の 両立理解促進フォーラム	全県フォーラム

※R7年度は、労使団体、金融機関への出張説明を随時開催

イ 不妊治療に特化した企業相談体制の構築

企業、専門家、当事者団体をつなぐ相談体制を構築。
当事者による適切な助言などの伴走型支援のほか、
企業の状況に応じた従業員向けオーダーメイド研修を実施
【不妊治療関係相談・研修実績】 (令和7年10月末時点)

区分	企業数
啓発	115件
相談	42件
研修	2件



[研修の様子]

3 勤労者福祉の充実

(1) 中小企業従業員共済制度(ファミリーパック)の実施【令和7年度予算 102,753千円】

中小企業従業員の福祉の増進、企業の安定した労働力の確保と健全な発展を図るため、県内の中小企業に勤務する従業員に対し、中小企業が単独では実施困難な共済事業を（公財）兵庫県勤労福祉協会において実施

ア 会費による事業（1人あたり500円/月）

【実績】

（令和7年10月末時点）

年度	福利厚生事業		給付事業		貸付事業		加入事業所数 (所)	被共済者数 (人)
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)		
R6	92,028	108,417	12,480	98,379	4	5,000	2,962	43,773
R7	73,515	87,937	8,422	68,616	3	3,320	3,028	45,321

イ 健康分野における福利厚生メニューの補助・非正規雇用労働者の加入促進

健康分野の会員利用料補助、非正規雇用労働者の福利厚生制度の充実を図ることにより、中小企業の人材確保を支援

【実績】

（令和7年10月末時点）

区分	補助額	R6	R7
インリガ補助	3,000円/人 ※配偶者を含め最大6,000円	13,572人	147人
人間ドック補助	20,000円/人 ※配偶者を含め最大40,000円	1,520人	792人
非正規雇用労働者加入数	非正規労働者会費（500円/月）の1/2 ※新規加入から3年	1,115人	1,189人

(2) 勤労者福祉施設の運営【令和7年度予算 272,664千円】

勤労者をはじめ広く県民に、憩いと休養の場や文化、スポーツ、レクリエーション活動の場を提供し、健康でこころ豊かな勤労者生活の増進を図るため、以下の施設を運営

ア 施設の概要

【設置状況】

名 称 (設置年月日) 所在地	主な設備内容	指定管理者	指定管理 期間
中央労働センター (S52. 1.10 (築48年)) 神戸市中央区	大ホール、小ホール、会議室、視聴覚室	(公財) 兵庫県勤労福祉協会・ 大林ファシリティーズ(株) グループ	5年 (R6～)
姫路労働会館 (S61.11.18 (築39年)) 姫路市	多目的ホール、会議室、視聴覚室、 サークル室、和室、トレーニング室	(公財) 兵庫県勤労福祉協会・ 大林ファシリティーズ(株) グループ	5年 (R6～)
但馬ドーム (H10.10. 1 (築27年)) 豊岡市	多目的グラウンド、多目的室、トレーニング室	(公財) 兵庫県勤労福祉協会・ 全但バス(株) グループ	5年 (R5～)
丹波年輪の里 (S63. 4. 12 (築37年)) 丹波市	木の館、クラフト館、アトリエ、イベント広場、 芝生広場	(公財) 兵庫丹波の森協会	5年 (R6～)



[中央労働センター]



[姫路労働会館]



[但馬ドーム]



[丹波年輪の里 (クラフト館)]

【利用状況】

(令和7年10月末時点)

区 分		R6 (人)	R7 (人)
中央労働センター	ホール	251,400	156,000
	会議室	113,800	75,150
	小 計	365,200	231,150
姫路労働会館	ホール	122,580	62,080
	会議室等	136,631	72,890
	小 計	259,211	134,970
但馬ドーム		218,058	170,222
丹波年輪の里		208,585	69,501
合 計		1,051,054	605,843

※ 姫路労働会館は会議室のほか、トレーニングルーム利用者を含む。

イ ひょうご労働図書館の運営

労働関係資料を幅広く収集し、時代の変化に応じた新しい働き方など勤労者ニーズに応じた情報を、勤労者をはじめ広く一般県民に提供

【利用状況】

(令和7年10月末時点)

年度	利用者数
R6	7,856人
R7	3,639人



【ひょうご労働図書館 館内】

【参考資料】

就労関係施策

県内中小企業の採用不足数1.2万人／年に対し、各種施策により、2.5万人／年への就労支援を実施。直接、就職につながるマッチング支援（約1割が就職）のほか、小学生から大学生まで幅広い層へ、県内企業の魅力発信やキャリア形成支援を行うことで、将来的な県内企業への就職をめざす。

（R6年度実績（R7年度目標値））

対 象	事業名	内 容	施策の位置付け			
			県内企業の 魅力発信	キャリア形成	マッチング	
					(相談者数)	(就職者数)
全世代	ひょうご・しごと情報広場の運営	若者・ミドル・シニアなどを対象にした就職相談窓口の運営			13,828件 (20,000件)	1,763人 (2,000人)
	マッチングサイトの運営	県内企業の求人情報等を発信するサイトの運営				26人 (100人)
	地域しごとサポートセンター事業	地域住民・団体のビジネス手法による地域課題解決支援 (起業・就業)			3,226人 (3,110人)	313人 (268人)
	デジタル技術を活用した雇用導入促進	女性・高齢者を対象としたスポットワーク推進事業				28人 (30人)
大学生・ 転職者	兵庫型奨学金返済支援制度	企業と連携した従業員の奨学金返済支援				515人 (560人)
大学生	大学生等インターンシップ [※] 推進事業	テーマ型、探求型インターンシップ [※] などによる県内企業の魅力発信と キャリア形成支援	577人 (675人)	93人 (75人)		
	理工系人材獲得促進事業	県内企業と理工系学生のマッチング支援	180人 (80人)			4人 (4人)
	合同企業説明会	新卒者向けの合同企業説明会	871人 (1,000人)			116人 (140人)
高校生	高校生の県内就職促進事業	高校生と進路指導担当教員向けセミナー		1,103人 (2,100人)		
小中学生	ひょうご科学塾	地元企業と県内大学による小中学生向け出前授業		R7新規 (1,200人)		
若年 無業者	若年無業者就労支援事業	若年無業者の就業への支援事業	313人 (140人)			
首都圏	ひょうご移住・しごとプラザ	首都圏在住者向け県内企業の情報発信			295件 (300件)	22人 (30人)
	移住支援金	東京都23区からの就業を伴う移住への支援				51件 (38件)
首都圏・ 転職者	おためし企業体験in HYOGO	社会人向けインターンシップ [※]	497人 (500人)			45人 (50人)
外国人	合同企業説明会	外国人留学生等向けの合同企業説明会	917人 (1,000人)			45人 (設定なし)
	外国人雇用相談窓口	外国人雇用に関する相談、採用後の職場定着までのワkstッ プ支援			460件 (1,200件)	
計			3,355 (3,395)	1,196 (3,375)	17,809 (24,610)	2,928 (3,220)

R6実績（25,288人・件）、R7目標（34,600人・件）



兵庫県